

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成23年度 第1回 所沢市障害者施策推進協議会
開 催 日 時	平成23年7月26日(火) 午前10:00~12:00
開 催 場 所	所沢市役所 全員協議会室
出 席 者 の 氏 名	山口 直彦、川名 はつ子、植村 英晴、神田 満、仲 重夫 鈴木 恭子、飯沼 勝男、竹内 善信、青木 寿美江、一木 昭憲 吉田 喜一、栗原 幸夫、河原 勝洋、小林 寛、若山 孝之 岩本 賢次、内海 文江、田中 恵子 以上18名
欠 席 者 の 氏 名	小林 治
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	㈱地域計画連合 相羽 宏信
議 題	① 所沢市障害者支援計画の進捗状況について(公開) ② 障害者支援計画の進め方について(公開) ③ 意見交換—障害福祉の今後のあり方について—(公開)
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ 障害者施策推進協議会名簿</li> <li>・ 資料「平成23年度一般会計歳入歳出予算款別構成図」</li> <li>・ 資料「障害福祉関係予算(当初予算)」</li> <li>・ 資料「障害者施策の推進体制」</li> <li>・ 資料「所沢市障害者支援計画施策別進捗状況(平成21年度)」</li> <li>・ 資料「所沢市障害者支援計画 各施策の指標・目標一覧(P88~89)」</li> <li>・ 資料「第2次障害者支援計画における策定の体制とスケジュール」</li> <li>・ 資料「障害福祉の今後の在り方について」</li> <li>・ 冊子「所沢市障害者支援計画」</li> </ul>
担 当 部 課 名	保健福祉部障害福祉課 保健福祉部長 内藤 隆行 保健福祉部次長 本橋 則子 障害福祉課 磯野 尊治 課長、青木 一圭 副主幹、新井 猛 主査、 吉川 泰央 主査、森田 茂明 主査、仲 修一 主任、 清水 秀一 主任  電話 04-2998-9116

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（磯野）	<p>開 会</p> <p>－委員改選があったため、委員紹介－</p> <p>－副会長選出－ 委員の互選により、副会長に河原勝洋委員を選出。</p> <p>－副会長あいさつ－</p> <p>－所沢市介護給付費等の支給に関する審査会から、委員推薦依頼－ 委員の互選により、一木昭憲委員を選出。</p> <p>－事務局自己紹介－</p> <p>－本年度の会議録の作成方法及び会議録の処理について－ 会議録の作成方法は、「要約方式」 会議録の処理については、「発言委員の名前を記載しない」 会議録の確定については、「議長の承認」 とすることを全会一致で承認。</p> <p>－傍聴者入場－</p> <p>－前回の協議会の質問の回答－ 協議会よりご質問がありました福祉予算関係及び、小中学校のバリアフリー化率についての報告でございます。まず、福祉予算関係をご説明します。</p> <p>平成 23 年度一般会計歳入・歳出の予算の図でございます。左側が歳入、右側が歳出ということで、今回は右側の歳出についてご説明します。総支出額が 873 億円に対しまして、民生費につきましては 388 億円、44.4%でございます。民生費 388 億円の中で、障害福祉部門につきましては、重度心身障害児等医療費、身体障害者福祉費、知的障害者福祉費、難病患者等生活支援事業費、福祉手当費、サン・アビリティーズ費、障害者自立支援費、総額で 47 億円で、民生費に占める割合は約 13%となっております。</p> <p>一点ご説明しますと、資料の下から 2 番目の精神保健事業費につきましては、民生費ではなく衛生費からの支出となっておりますのでご注意ください。</p>

委員	サン・アビリティーズ費の内容を説明していただきたい。
事務局（磯野）	所沢市の松井地区にあるサン・アビリティーズという障害者支援施設です。ここは従来国の施設だったのですが、それを市で譲り受け、現在指定管理による維持管理をしています。主にその維持管理の委託料でございます。
委員	予算だけでなく、22年度の決算の資料はあるか。
事務局（磯野）	現在、決算審査を受けているところであり、確定はしていません。
委員	今あるものを示していただければよい。
会長	では、決算が確定次第、説明資料をお願いするという事によろしいでしょうか。
委員	精神保健事業費だけは民生費ではなく衛生費から支出しているという説明があったが、三障害を今後統合していくという大きな施策の中で、将来的には民生費から支出するように移行する方針になっているのか。
事務局（磯野）	精神障害の方に対する障害福祉サービス費は、民生費の障害者自立支援費に組み込まれております。衛生費の精神保健事業費で計上されているものはパンフレット作成等の事務費です。
委員	先日の新聞報道によると、厚生労働省が精神疾患を五大疾患の一つとして含めるとのことである。それに基づき、各県・各市町村に対し、精神疾患の保健医療についての取り組みを更に強化させるという方針を、今年の12月頃に示すということである。そこで、自立支援費の中の、精神障害者に対する障害福祉サービス費も増額していく方向付けが、市にあるのかどうか伺いたい。
会長	その点につきましては、この後の支援計画の進捗状況の報告の際、事務局より説明していただきます。
事務局（青木）	議題（1）所沢市障害者支援計画の進捗状況について －資料に基づき説明－

<p>委 員</p> <p>事務局（磯野）</p>	<p><b>【質疑応答】</b></p> <p>まず質問の前に、事務局に苦言を呈したい。今年3月の協議会は中止と延期、どちらであったのか。</p> <p>東日本大震災の影響により中止としました。</p>
<p>委 員</p>	<p>出来れば別の日に改めて開催することも考えていただきたかった。一点目は、障害者に対する理解促進である。市民の方々の障害者への理解を深めるために、いろいろな施策を行っているとは思いますが、併せて条例等が必要ではないかと思う。県で条例があるから、市では制定しないということである。障害者差別禁止条例、あるいは障害者の権利条例のようなものを、私としては所沢でも実現したいと思っている。国では差別条例を、恐らくは2～3年のうちに制定すると思う。</p> <p>次に、サン・アビリティーズの利用手続きの件だが、書面で申込書を提出しないと利用出来ないことになっている。他の公共施設はインターネットで予約出来るようになっているので、サン・アビリティーズに於いてもインターネットで予約出来るようお願いしたい。</p> <p>相談支援事業のことについては、基幹型の相談支援センターを作ればよいのではないかという話があったが、これについて検討するための会議を、ぜひ立ち上げていただきたいと思っている。</p> <p>学校のバリアフリー化の問題については、学校が災害時の緊急避難場所になることを考えると、このバリアフリー化を要援護登録者と併せて対応していただきたい。</p> <p>要援護者登録の件で、実際に災害等が起きた時に、果たしてどのぐらい効力があるものかというのが疑わしい。地域のコミュニケーション構築を市の主導で行っていただきたい。</p> <p>また、昨年度、7年間続いた所沢市バリアフリー推進協議会が終了したが、バリアフリー化はまだ完了したわけではない。今後新たに計画を立てないとバリアフリー化は進まない。</p> <p>ところざわ就労支援センター登録者の就職率は、数字だけみると半数以上の方が就労出来ているとのことだが、実際には障害の程度もさまざまであると思う。どういう内容なのか教えていただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>前計画策定時に、タクシー券の大削減という問題が起きた。</p> <p>それと関連して、市内の路線バスに対するノンステップバスの導入率について、数値の部分で68.2%とあるが、私の実感とは違う。私が知っている営業所では、もう少し割合が低いようだ。</p> <p>また、狭隘路線の運行の都合があるとも聞いているが、バスの新車がノンステップ車でなく、ワンステップ車になってしまっている状況を改善していただきたい。</p> <p>次に、特に所沢駅の東西をはじめとして、路面と歩道の段差が非常にありすぎるので改善していただきたい。</p> <p>もう一点は、やはり災害等の問題である。東日本大震災を経て、障</p>

<p>委 員</p>	<p>被害者の避難がどうであったかを把握していただきたい。 危機管理課に対しても、障害者団体との特別な懇談会を持って、もっと突っ込んだ対策が少しでも細かく立てられるようにしていただきたい。</p> <p>所沢市障害者支援計画書（以下、計画書）の 24 ページを見ていただきたい。ここに P D C A のサイクルが書いてあるが、現事業の評価については、22 年度の結果が出ていない。21 年度についても半年遅れで評価している。このことについて会長はどう思うのか。</p>
<p>委 員</p>	<p>災害時の要支援体制の件だが、3 月以前の目標は達成していないようだ。東日本大震災後は登録者数の数も増えたのではないかと思う。その中の知的障害者、また聴覚障害者等の数などが分かれば知りたい。</p> <p>また福祉避難所の件だが、目標が 8 か所で現在 3 か所とのことだが、かなり少ないように感じる。もしまた地震が起きた場合に備えて、早めにそういう準備をやっていただきたい。</p> <p>また福祉避難所等についても、私たちは全く知らないので、周知していただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>精神障害関係からの質問と要望をお願いしたい。計画書 17 ページの『入院中の精神障害者の地域生活への移行』で、23 年度の目標値が『39 名を地域に移行』となっているが、その後の実態はどうなったのかがいたい。</p> <p>それから計画書 60 ページに『ホームヘルプサービスの充実』で、23 年度の目標値が 2.1% だが、この中に精神障害者がどれほど含まれているのか伺いたい。</p> <p>また、精神疾患が五大疾患の一つに入ることも含めて、今後、精神障害者が地域でその人らしく生きていけるための体制を充実していただきたい。さらに、精神障害者に対するバスや電車の割引制度についても、進めていただきたい。</p> <p>グループホームについて、現在のところ精神障害者のグループホームが無い。これに関しても力を入れていただきたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>他にご意見・ご質問はよろしいでしょうか。この後に障害者支援計画の進め方についてもお話がございますので、先ほどのご質問で答えられる点については、事務局からお答えいただきたいと思っております。もし本日直接答えられないのであれば、後日回答してください。</p>
<p>事務局（磯野）</p>	<p>まだ各委員の全員のご意見を伺っていないところではございますが、本日いただいた委員の方々のご意見・ご要望、あるいはご質問については、私どもで各関係課等への照会・確認するもの等に選別しまして、次回の協議会までに整理して、皆さんにご提示したいと思いま</p>

<p>委員</p>	<p>す。 ご意見・ご要望が広範囲に渡りますので、県や関係各課に確認する時間をいただきたいと思います。 なお、バリアフリー関係につきましては、皆様から出た意見を直ちに関係各課にお伝えします。</p>
<p>事務局（磯野）</p>	<p>ここで発言しない者は意見が通らないのか。</p> <p>恐らく皆様の方では、発言しきれないこと、あるいは時間がなくて発言出来ない場合があると思いますので、本会議が終わった後でも結構ですので、8月の中旬を目安にご意見等をいただければありがたいと存じます。それにつきましても皆様にご報告したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>これからの計画の進め方、それから障害者支援計画等もございますので、出来ればご意見をいただいて、それについて事務局の方で答えられるものについては、次回の協議会で答えていただくよう、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局（新井） 事務局 （地域計画連合）</p>	<p>議題（2）障害者支援計画の進め方について</p> <p>—資料に基づき説明—</p>
<p>会長</p>	<p>議題（3）意見交換—障害福祉の今後のありかたについて—</p> <p>どうもありがとうございました。本日時間があれば、私のほうから障害者の虐待防止法や基本法の改正について、若干説明する予定でございましたが、本日は時間がございませんので、またの機会にさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>委託先である地域計画連合については、インターネットで検索すれば、会社の内容は分かるのか。同時に市に伺いたいのだが、地域計画連合を選定された理由は何かあるのか。</p>
<p>事務局（青木）</p>	<p>予め実績等を踏まえ5社を選定し、プロポーザル方式で決定いたしました。</p>
<p>委員</p>	<p>本日は植村先生のお話も聞きたいと思って出席したが、質問の時間が、要望に変わってしまった。議題の時間配分等を適切に行うよう、願います。</p>

事務局（磯野）	<p>先ほど申し上げましたとおり、今回の意見等については、書面でいただければと考えております。内容によって事務局から回答したり、次回協議会で議論していただくということでお願いします。議題については、本来皆様の要望なり意見を集約して、皆様に議論を深めていただくというのがこの協議会の目的でございますので、次回は協議会の本旨にのっとりまして、議論を深めていただきたいと思います。</p>
事務局（内藤）	<p>私どもの会議で扱う内容は障害者福祉ということですから、障害者の方々の当事者の声というのは、やはり最大限尊重しなければいけないということがございます。</p> <p>もし、本日出せなかったご意見が有れば、書面にて事務局にご提出いただければ、関係各課に明らかにします。できるだけ皆様の声は拾っていきたいと考えております。</p> <p>インターネットでの予約の件ですが、このようなシステムにすると、一つの団体から5人ぐらいが同時に予約を抑えてしまうなど、不都合が生じることが多く見られます。</p> <p>それから基幹型の相談支援の問題であるとか、東日本大震災で経験しました、安否確認の作業が困難であることなど、さらに改善していきたいと思っております。</p> <p>それから、交通バリアフリー推進協議会に関しては、私も最後の会議に出席した際、それに代わる機関を何とか作りたいという発言で終わったのですが、ご指摘の通りまだ何もないという状況なので、多くの委員の方々からご指摘があったということを報告して参りたいと思っております。</p>
委員	<p>災害のことだが、支援計画とは別に、市の中での優先順位があると思う。いつまた大きな地震が起きるか分からないので、早急に支援計画とは切り離して、先にやっていただきたい。</p>
事務局（磯野）	<p>私どもを通じて担当課に伝えます。</p>
委員	<p>こういうことをやる際に、社会福祉士という相談援助を専門とする職種がある。先ほどの災害の防止に際しても、医療関係者は防災協定を市町村で結んでいるのだが、社会福祉士はまだそういう体制が出来ていない。せっかくいろんな援助技術を持っているのに、そういった人たちを使えないということがあるので、今後そういうことも考えていただけたらと思う。</p> <p>それと各施策の達成率を競うのではなくて、なかなか達成出来ない課題や失敗例からも学ぶというやり方も必要だと思う。</p> <p>－閉会あいさつ－</p>